

中学校 国語科シラバス

3年間のねらい 学習目標

国語の授業ではいろいろな言語能力を同時進行で総合的に学習することになる。たとえば、「作品の感想を発表する」という学習行為一つをとっても、「読む」「話す」「聞く」という三つの言語活動が含まれている。そういう学習行為を繰り返し行うことによって、高い学力を習得してほしいと願っている。具体的には以下のようになる。

文学的文章での目標は「読解力」をつけることだ。作品を客観的に分析する方法などを学び、「行間を読む」ことはもちろん、象徴・対比などの表現や作品の構成に注目して主題に迫るなど、自分の力で作品を読解できるようになることを目指している。

作品を客観的に読む一方で、文学的文章を通じて作者・登場人物の考え方や生き方に触れる。授業の中で、それに対するさまざまな考え方も知る。それらを通して、自分だけの世界に閉じこもらず、他人を理解したり、いろいろな角度から物事を考えたりできるよう、精神的に成長することも大切だと考えている。

説明的文章では、文章の要旨やその構成を押さえることを目標としている。いろいろな分野の文章に触れることで、知識・視野を広げることも大切だ。文章を読んでいくなかで、根拠を明らかにして自分なりに解釈し、それを他人に納得させる力も身につけていく。また、文章を無批判に受け入れるだけでなく、筆者の論理を検証したり、自分の意見を持ったりする練習も行う。

古典を学ぶ目的は、それを深く読み味わうことによって過去とつながることである。いろいろな分野の古典を読むことによって、古人の習慣や考え方に触れる。そこに現代人と共通の感覚を見つけることによって、古典に対する親しみや共感を持ってほしい。

現代では、文章の読解力だけでなく、表現力の向上も求められている。それゆえ、文章の構成を意識しながら、いろいろな角度から物事をとらえ、最終的に自分の主張を述べることも目標に挙げたい。そのために、段階的に学年別の到達目標を設定している。自分を表現することで、自分を客観的に見たり新しい自分を発見したりできればと考えている。

学年	第1学年	教科書	教育出版 『伝え合う言葉 中学国語』 1年 教育出版 『中学書写』 1年
		副教材	教育出版 『中学国語 漢字ノート』 1年 浜島書店 『国語便覧 (大阪府版)』 文法テキスト

学習到達目標

中学1年生国語においては、基礎学力と学習技能を身につけることを目標とする。

- 1, 漢字 中学1年生の漢字と、中学2年生の漢字の一部を先取りして学習する。書き取り練習を重ね、正確に書く力とともに、美しく速く書く力を身につける。
- 2, 文学的文章 多様な表現を味わい、そこから情景や心情を深く読み取るとともに、主題を読み取る力を育てる。
- 3, 説明的文章 文章の展開をとらえ、筆者の見方や考え方を理解するとともに、自らの考えを持つ意欲を養う。
- 4, 古典的文章 古文においては五十音図と歴史的仮名遣い、漢文においては返り点の読み方・付け方を理解し、古典を読むための基礎的な知識を身につける。また、音読・暗唱することで古典のリズムに触れ、興味・関心を育てる。
- 5, 文法 言葉の単位、文の成分、品詞の分類、動詞の活用についての知識を習得する。
- 6, 読書 短編の作品を中心に読み、読書の習慣をつくる。
- 7, 書写 文字を書くときの正しい姿勢を身につけ、楷書の書き方を学ぶ。

中学1年生の表現では、まず書き言葉と話し言葉の違い、主述の正しい文章の書き方、原稿用紙の使い方を学習し、わかりやすい文章を書くための基礎を身につける。その上で、スピーチの仕方、読書感想文・手紙・意見文の書き方を学習して、様々な種類の文章を書き、表現の幅を広げる。

学習方法

授業を大切にすることが基本である。授業前には必要な物を準備し、着席しておく習慣を付ける。

授業中は、教師の説明や指示を注意深く聞き、授業の流れに沿って学習できるようにする。ノートは板書

や教師の説明等を、丁寧な字で確実に書くようにし、復習時に要点が理解できるものを作る。

授業時に出された課題は、丁寧に仕上げ、期限を守って提出することを心掛ける。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

<国語 週3時間>

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	1. 導入	<ul style="list-style-type: none"> 正しい学習態度（漢字スキル・百人一首等）を確立する。 	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語への関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 読む能力 言語についての知識・理解・技能 <p>【評価方法】</p> <p>1. 定期考査の成績 定期考査においては、知識・理解や読む能力に偏ることなく、書く能力などをみる問題も出題する。</p> <p>2. 学習態度等の平常点 (1) 授業時などの学習過程で、評価の観点の5項目について評価する。 (2) 課題などの提出状況・復習テスト・小テストの成績などを評価する。</p>
	2. 詩「わたしの中にも」	<ul style="list-style-type: none"> 授業に必要な技能(ノートの取り方・発言の仕方・音読の仕方等)を習得する。 自ら進んで発表するとともに、周囲の意見を聞き、自分の意見をまとめる。 詩に描かれた生き物たちについて考える。 詩を読んでどのような発見があったかを話し合う。 	
	3. 説明文「花の形に秘められたふしぎ」	<ul style="list-style-type: none"> 文中のグラフに注目し、事実と意見を読み分ける。 大段落ごとに文章を要約し、要旨をとらえる。 	
	4. 小説「暗やみの向こう側」	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の視点を理解し、それらがどのように展開されているか読み分ける。 	
	5. 古文「竹取物語」	<ul style="list-style-type: none"> 五十音図についての理解を深め、歴史的仮名遣いを習得する。 竹取物語を音読・暗唱し、古典のリズムに触れる。 竹取物語の全体を理解し、古文に興味を持つ。 自ら進んで発表するとともに、周囲の意見を聞き、自分の意見をまとめる。 	
	6. 漢文「故事成語」	<ul style="list-style-type: none"> 故事成語を音読・暗唱し、漢文のリズムや表現に慣れる。 故事を読み、用法や意味を理解する。 返り点の読み方、付け方を習得する。 	
	7. 文法	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の単位、文節相互の関係、文の成分を学習する。 	
	8. 漢字	<ul style="list-style-type: none"> 教科書準拠のドリルを用い、中学1年の漢字を習得する。 	
	9. 読書	<ul style="list-style-type: none"> 短編を中心に読書し、本を読む習慣をつける。 	
	10. 書写	<ul style="list-style-type: none"> 文字を書くときの姿勢や基本的な運筆を 	

		学習する。	
2 学 期	<p>1. 小説「オツベルと象」</p> <p>2. 説明文「笑顔という魔法「自分の頭で考える？」</p> <p>3. 小説「少年の日の思い出」</p> <p>4. 文法</p> <p>5. 漢字</p> <p>6. 読書</p> <p>7. 書写</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の関係に注意し、出来事の展開、構成の仕方、表現の特徴について自分の考えをまとめる。 ・文章の構成や要旨をとらえ、目的や必要に応じて要約する。 ・事実と意見を区別し、筆者の見方や考え方を理解する。 ・人物の心情や行動の意味を理解し、作品の大きな構成や主題をとらえる。 ・自ら進んで発表するとともに、周囲の意見を聞き、自分の意見をまとめる。 ・品詞の分類・活用のない自立語を学習する。 ・教科書準拠のドリルを用い、中学1年の漢字を習得する。 ・短編を中心に読書し、本を読む習慣をつける。 ・楷書と仮名を調和させて書くことを学習する。 	1学期に同じ
3 学 期	<p>1. 文法</p> <p>2. 小説「蜘蛛の糸」</p> <p>3. 説明文「言葉がつなぐ世界遺産」</p> <p>4. 漢字</p> <p>5. 読書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞の活用を学習する。 ・創意工夫が施された表現から、場面設定や人物の心の動きを理解する。 ・自ら進んで発表するとともに、周囲の意見を聞き、自分の意見をまとめる。 ・筆者が提起する問題を向き合い、自分の視点や考え方を広くする。 ・「言葉」が果たしている役割を捉える。 ・教科書準拠のドリルを用い、中学1年の漢字を習得する。 ・短編を中心に読書し、本を読む習慣をつける。 	1学期に同じ

<表現 週1時間>

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	1. 導入 2. プリント教材 3. プリント教材 4. プリント教材 5. 暗唱詩文集 6. スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> 正しい学習態度（音読・姿勢等）を確立する。 主述や修飾の関係が正しい文を書く。 マインドマップの書き方を習得する。 書き言葉と話し言葉の違いを理解し、書き言葉を正しく使えるようになる。 名文を音読・暗唱する。 決められた時間に自分の考えをまとめ、スピーチを行う。 	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語への関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 読む能力 言語についての知識・理解・技能 <p>【評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 定期考査の成績 定期考査においては、知識・理解や読む能力に偏ることなく、書く能力などをみる問題も出題する。 学習態度等の平常点 (1)授業時などの学習過程で、評価の観点の5項目について評価する。 (2)課題などの提出状況などを評価する。
2 学期	1. 読書感想文 2. 手紙 3. 作文（文化祭） 4. 暗唱詩文集 5. スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> マインドマップを使って、書く内容を整理する。 原稿用紙の使い方を理解し、推敲する。 手紙の形式を学習し、状況に応じた手紙を書く。 マインドマップを使って、書く内容を整理する。 書き出しのパターンを習得する。 原稿用紙の使い方を理解し、推敲する。 名文を音読・暗唱する。 決められた時間に自分の考えをまとめ、スピーチを行う。 	1学期に同じ
3 学期	1. ブックトーク 2. 意見文 3. 暗唱詩文集	<ul style="list-style-type: none"> 決められた時間に自分の考えをまとめ、スピーチを行う。 班で協力して、スピーチを行う。 与えられた材料について自分の考えを持ち、マインドマップを使って、その考えをまとめる。 事実と意見を区別し、説得力のある意見文を書く。 原稿用紙の使い方を理解し、推敲する。 名文を音読・暗唱する。 	1学期に同じ

学年	第2学年		教育出版 『伝え合う言葉 中学国語』 2年
		副教材	教育出版 『中学国語 漢字ノート』 2年 3年 浜島書店 『国語便覧 (大阪府版)』 文法テキスト

学習到達目標

中学2年生においては、基礎学力と学習技能を定着させることを目標とする。

- 1, 漢字 中学2年生と3年生の漢字の学習を終える。
- 2, 文学的文章 さまざまな表現を味わい、情景や心情を深く読み取るとともに、主題を読み取る力を育てる。また、読み取った主題を手がかりに、自らの世界観を広げる。
- 3, 説明的文章 文章の展開をとらえ、筆者の見方・考え方を理解するとともに、それらを手がかりに自らの考えを整理する。
- 4, 古典的文章 古文においては、中1で身につけた知識を活かしながら、場面の展開、人物の心情を読み取る。また、漢文においては訓読文を書き下し文に直す方法を学習するとともに、中国の思想に触れる。
- 5, 文法 形容詞・形容動詞の活用、助詞、助動詞についての知識を習得し、口語文法の学習を終える。
- 6, 読書 短編の作品を中心に読み、読書の楽しみを味わう。

学習方法

授業を大切にすることが基本である。授業前には必要な物を準備し、着席しておく習慣を付ける。

授業中は、教師の説明や指示を注意深く聞き、授業の流れに沿って学習できるようにする。ノートは板書や教師の説明等を、丁寧な字で確実に書くようにし、復習時に要点が理解できるものを作る。

授業時に出された課題は、丁寧に仕上げ、期限を守って提出することを心掛ける。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

<週4時間>

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	1. 説明文「アオスジアゲハとトカゲの卵」	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、筆者の見方や考え方を理解する。 例と意見を区別し、その働きが理解できるように復習をする。 	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語への関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 読む能力 言語についての知識・理解・技能 <p>【評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期考査の成績 定期考査においては、知識・理解や読む能力に偏ることなく、書く能力などをみる問題も出題する。 2. 学習態度等の平常点 (1) 授業時などの学習過程で、評価の観点の5項目について評価する。 (2) 課題などの提出状況・復習テスト・小テストの成績などを評価する。
	2. 短歌「近代の短歌」	<ul style="list-style-type: none"> 短歌のリズムや表現技法を学び、短歌に詠まれた情景や心情を味わう。 	
	3. 古文「直実の流した涙 (平家物語)」	<ul style="list-style-type: none"> 暗唱練習をし、古文のリズムに親しむ。 場面の展開、人物の心情を読み取り、古典の世界に親しむ。 	
	4. 小説「夏の葬列」	<ul style="list-style-type: none"> 表現に即して、人物の心情やその変化を読み取る。 戦争など社会がもたらす問題に向き合い、考える機会を持つ。 	
	5. 詩「レモン哀歌」	<ul style="list-style-type: none"> 詩を読み、作者独自の表現を味わう。 詩に込められた作者の思いを読み取る。 詩の表現技法を復習する。 	
	7. 文法	<ul style="list-style-type: none"> 動詞について復習する。 形容詞・形容動詞について学習する。 	
	8. 漢字	<ul style="list-style-type: none"> 教科書準拠のドリルを用い、中学2年の 	

	<p>9. 古文「百人一首」</p> <p>10. 読書</p>	<p>漢字を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百人一首を暗唱する。 <p>・短編を中心に読書し、さまざまな世界に関心や興味を持つ。</p>	
2 学 期	<p>1. 小説「走れメロス」</p> <p>2. 漢文「孔子の言葉（論語）」</p> <p>3. 説明文・評論「ガイアの知性」など</p> <p>4. 随想「悠久の自然」</p> <p>5. 文法</p> <p>6. 漢字</p> <p>7. 古文「百人一首」</p> <p>8. 読書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書き出しや文体の工夫を読み取る。 ・作品の主題をとらえ、人間の生き方や考え方について、理解を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ・返り点について復習する。 ・訓読文を書き下し文に書き換える練習をする。 ・言葉の意味を理解し、思想について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念をあらわす言葉について理解を深め、語彙力を増やす。 ・接続語・指示語の働きを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の体験から筆者の思いや考え方を理解する。 ・文章の表現や構成の工夫を学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・助詞について学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書準拠のドリルを用い、中学2年の漢字を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・百人一首を暗唱する。 <p>・短編を中心に読書し、さまざまな世界に関心や興味を持つ。</p>	1学期に同じ
3 学 期	<p>1. 評論「学ぶ力」など</p> <p>2. 古文「随筆の味わい（枕草子・徒然草）」</p> <p>3. 文法</p> <p>4. 漢字</p> <p>5. 古文「百人一首」</p> <p>6. 読書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の展開に注意して筆者の主張をとらえ、要約する。 <ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れたものの見方や考え方に触れ、作者の思いを想像する。 <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞について学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書準拠のドリルを用い、中学3年の漢字を先取り学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・百人一首を暗唱する。 <p>・短編を中心に読書し、さまざまな世界に関心や興味を持つ。</p>	1学期に同じ

学年	第3学年	教科書	教育出版 『伝え合う言葉 中学国語』 3年
		副教材	漢字検定3級対策問題集 浜島書店 『国語便覧（大阪府版）』 文法テキスト

学習到達目標

中学3年生では、中1・中2で養った基礎学力と学習技能に基づいて、学力の充実を図る。

- 1, 漢字 漢字検定3級の取得を目指す。
- 2, 文学的文章 さまざまな作品に触れる中で、より深い次元での人物の心情・作品の主題をとらえ、そこから社会や人間一般についての理解を深める。
- 3, 説明的文章 より複雑な文章展開を把握し、筆者の主張を読み取る。また、筆者の物事の見方を参考にしながら、新たな視点を獲得し、自分の考えの幅を広げる。

学習方法

授業を大切にすることが基本である。授業前には必要な物を準備し、着席しておく習慣を付ける。

授業中は、教師の説明や指示を注意深く聞き、授業の流れに沿って学習できるようにする。ノートは板書や教師の説明等を、丁寧な字で確実に書くようにし、復習時に要点が理解できるものを作る。

授業時に出された課題は、丁寧に仕上げ、期限を守って提出することを心掛ける。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

<週4時間>

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	1. 俳句「近代の俳句」 2. 評論「文化としての科学技術」 3. 小説「みどり色の記憶」 4. 文法（口語） 5. 古文「和歌の調べ（万葉・古今・新古今）」 6. 漢字 7. 読書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 俳句の表現法、文学史的知識を学び、俳句に詠まれた情景や心情を味わう。 ・ 表現や展開、表現の仕方を捉え、筆者の喚起していることを受け止める。 ・ 現代社会のあり方について考える。 ・ 文章の展開に注意して内容を捉え、筆者の主張を把握する。 ・ 物語によって提起されている問題について、自分の考えをまとめる。 ・ 既習事項について復習し、理解を深める。 ・ 和歌の文学史や修辞法を学習し、和歌に詠まれた情景や心情を味わう。 ・ 問題集を用いて、漢字検定3級合格を目指し学習する。 ・ 短編を中心に読書し、構成や展開、表現方法の違いについて考察する。 	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語への関心・意欲・態度 ・ 話す・聞く能力 ・ 書く能力 ・ 読む能力 ・ 言語についての知識・理解・技能 <p>【評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期考査の成績 定期考査においては、知識・理解や読む能力に偏ることなく、書く能力などをみる問題も出題する。 2. 学習態度等の平常点 (1) 授業時などの学習過程で、評価の観点の5項目について評価する。 (2) 課題などの提出状況・復習テスト・小テストの成績などを評価する。
2 学期	1. 小説「最後の一句」 2. 評論「言葉の力」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の展開や表現に注意して、作者の意図や効果を理解する。 ・ 主人公の行動に対する自分の考えを持つ。 ・ 文章の展開に注意して内容を捉え、筆者の主張や文章の要旨をまとめる。 ・ 新しい視点を獲得し、自分の考えの幅を 	1学期に同じ

	<p>3. 詩「初恋」</p> <p>4. 短歌「古典の歌、現代の歌」</p> <p>5. 古文「旅への思いーおくのほそ道」</p> <p>6. 随想「無言館の青春」</p> <p>7. 文法（口語）</p> <p>8. 漢字</p> <p>9. 読書</p>	<p>広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現技法とその効果について学習する。 ・詩に込められた作者の思いを読み取る。 ・短歌に詠まれている作者の喜びや悲しみに触れ、その世界に親しむ。 ・日本の伝統的な言語文化を学ぶ。 ・音読・暗唱し、古文のリズムに親しむ。 ・俳文の特徴を学び、古人の自然や人間に対する思いに触れる。 ・時代背景を理解し、人間・社会についての考えを深める。 ・敬語について学ぶ。 ・問題集を用いて、漢字検定3級合格を目指し学習する。 ・長編を中心に読書し、様々な生き方や考え方に触れる。 	
3 学 期	<p>1. 小説「故郷」</p> <p>2. 評論「『新しい博物学』の時代」</p> <p>3. 文語文法</p> <p>4. 漢文「漢詩」</p> <p>5. 漢字</p> <p>6. 読書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の書かれた時代背景を理解する。 ・人物の心情を捉えながら、主題を読み取る。 ・論理の展開の仕方を捉えて、筆者の問題提起を受け止める。 ・評論を読むために必要な語彙力を付ける。 ・用言について学習する。 ・書き下し文への直し方を復習する。 ・音読・暗唱し、詩に歌われた情景・心情を味わうと共に、漢詩の知識を理解する。 ・問題集を用いて、漢字検定3級合格を目指し学習する。 ・長編を中心に読書し、様々な生き方や考え方に触れる。 	1学期に同じ